

「全日本のヨウヘイから世界の Yohei に!!」



2009 年、モトクロスライダー小島庸平はモトクロス世界グランプリに参戦します。

2008 年 10 月 25 日

みなさんこんにちは。モトクロスライダーの小島庸平です。6 歳でモトクロスを始め、2002 年に全日本モトクロス選手権への参戦を開始。以来 7 年間、1 度もレースを休むことなくここまで走り続けてくることが出来ました。その間、2002 年に国際 B 級 125cc クラスでチャンピオンを獲得。翌年国際 A 級昇格を果たし、2006 年には IA2 クラスでチャンピオンを獲得しました。また昨年、今年も、国内最高峰の IA1 クラスで、優勝やチャンピオン争いを経験することができました。

これらは全て、自分のレース活動を支えてくれた Team SUZUKI と Team SRM、吉村太一社長、スポンサーの皆様、レースで僕を鍛えてくれたホンダ、ヤマハ、カワサキの各チームやライダー仲間たち、ここまで育ててくれた家族、メディアの皆様、そしていつも応援してくれるファンの皆様あってのことだと心から感謝しています。

2009 年、僕はモトクロス世界選手権にチャレンジすることを決めました。大好きなモトクロスというスポーツ。誰よりも速くなりたいと思って今まで出来る限りの努力を続けてきました。そんな中、世界選手権日本グランプリやモトクロス・オブ・ネイションズなどの国際レースに出場するチャンスを手にし、世界にはもっともっとレベルの高いモトクロスがあることを知りました。もちろん全日本 IA1 クラスでチャンピオンを獲得し、日本一になってからという考えもありました。でも僕はもっともっと先に行きたい。今の自分が、世界でどこまで通用できるか試してみたい。世界の頂点に立ちたい。そしてこのチャレンジが、日本のモトクロスのレベルアップにも必ず貢献出来るものと信じています。

Team SUZUKI を通じて知り合えた偉大な世界チャンピオン、エリック・ゲボスさんに夢を伝えたところ、「ヨーロッパに来い」と言ってもらえることが出来ました。迷いはありませんでした。来シーズン僕は、モトクロス世界選手権グランプリ MX2 クラスに参戦します。ただし初年度は、これまでのようなスズキのサポート体制ではなく、全て自己負担、完全なプライベート体制でのチャレンジとなります。夢を実現するには、皆様のお力添えが必要です。心より応援とご協力をお願いする次第です。

グランプリ参戦までの経緯、練習やトレーニングなど現地での様子、プレシーズンを含めたレース参戦レポートなどは、逐一ご報告させていただきます。メディアの皆様には、僕の挑戦を一人でも多くのモトクロスファンに伝えていただければと思っています。改めて皆様のご協力を心よりお願いします。応援してください。

小島庸平

小島庸平プロフィール

1985 年 5 月 17 日生まれ
三重県鈴鹿市出身 / 23 歳
血液型 A 型

趣味 / カラオケ
好きなコース / 名阪スポーツランド、藤沢スポーツランド
車 / ハイエース

1991 年 (6 歳) 父と兄の影響でモトクロスを始める
2001 年 (16 歳) 国内 A 級チャンピオン
2002 年 (17 歳) 国際 B 級 125cc クラスチャンピオン
2003 年 (18 歳) 国際 A 級昇格
2004 年 (19 歳) IA2 クラスランキング 15 位
2005 年 (20 歳) IA2 クラスランキング 3 位
2006 年 (21 歳) IA2 クラスチャンピオン (5 勝)
2007 年 (22 歳) IA1 クラスランキング 3 位 (1 勝)
2008 年 (23 歳) IA1 クラスランキング 2 位 (1 勝)

パーソナルスポンサー

RS タイチ ROCKSTAR SPY Troy Lee Designs ブリヂストン アライ KYB ジェック グリコ 靴下屋 レオタニニモト
tmr.com co9bit (敬称略)

広報サポート (メディアサービス): エムシースクエア

参戦レポートを含めた情報伝達は、各メディアのご担当者様と小島選手との連絡をスムーズに行うために、エムシースクエア (木田 淑) が、アンカー役を務めさせていただきます。公式リリースの配信、取材依頼等、お気軽にご相談ください。